

# 竹中工務店と共同開発

## 疲労軽減する建設作業着

【岡山】ダイヤ工業（岡山市南区、松尾正男社長、086・282・1245）は、竹中工

務店と共同開発した建設作業員向け疲労軽減ウェア「職人ダーウィン」を2015年度から本格的に販売する。販売目標は年間1万着。同製品はスポーツ用に普及の進むコンプレッションウェアの一種。繊維張力を利用して現場技能工の筋負担を減らす。職種別3タイプを1月中旬に発売予定だが2014年秋の予約開始後、予想を超える反響があり拡販を決めた。今春をめどに新タイプや女性用モデルも追加し対応範囲を広げる。

### ダイヤ工業

### 3タイプ。月内発売

現場ヒアリングを元に作業時の姿勢や動作から上半身用を3タイプに分けた。着ると適度な圧力が身体にかかりバランス良い姿勢を保てる。三角筋など特定部位の使い過ぎも防ぐ。下半身用は共通で階段昇降のサポートや腰痛コルセット機能を持つ。前開きでトイレに行くのも容易だ。価格は上下セットで2万1000円（消費税抜き）。将来的には作業着専門店など他のチャンネルを通じた販売や海外展開も検討するが、同社では「量を追うより顧客の声を丁寧にする」を掲げながら市場での認知度を高めた」としている。

同社は医療用サポート、コルセットなどのメーカー。3万軒に及ぶ全国の整骨院との通販取引が売り上げの約85%を占める。今回のベースとなったサポートウェアのほか、岡山大学の協力により人工筋肉を使ったパワーアシストグローブも製品化している。13年3月

期の売上高は30億円。疲労軽減ウェア「職人ダーウィン」

